

## [大分県]

### おぜんかきぜかぐら みさき 豊前蛸瀬神楽「駮仙神楽」

団体名：豊前岩戸神楽蛸瀬神盛会

所在地：大分県中津市大字蛸瀬436-1

豊前蛸瀬神楽は、「学問のすすめ」を著わした福沢諭吉の名で知られる、大分県中津市蛸瀬の八坂神社に伝わる豊前系の岩戸神楽である。

本来、この神楽は福岡県吉富町にある八幡古表神社で行われていたもので、熊谷房重宮司が、江戸末期に当神社の傘下にあった八坂神社の神楽方である横松房太郎他、蛸瀬地区の有志に伝授したものとされている。このとき伝授された神楽は三十三番あり、これは現在もすべて受け継がれている。

その後、蛸瀬地区では保存会として「豊前岩戸神楽蛸瀬神盛会」を創設し舞い手組織の充実と芸技の錬磨を計っている。その成果もあって現在、舞い手は17名を数える。合わせて、小学生を対象に「蛸瀬子供神楽」も結成し後継者の育成も行っている。

さて、蛸瀬「八坂神社」は、古くから防疫神・五穀豊穡の神として信仰を集め、明治5年に村社に列せられた。祭神は、素戔鳴尊・豊受姫命・応神天皇・稲倉魂命・大国主命・蛭兒神（7柱）を合祀したものである。神社内にある大江本宮

の建立は、享保十五年（1721）で、施主は新田義氏と伝えられている。春・夏・秋にはそれぞれ大祭が催され、神楽は秋の大祭時に行われるのが常である。ただし、これ以外にも、10～15年に一度境内南西角に鎮座する「奉事神明」の石碑の前で奉納神楽が行われる。

今回演じる「駮仙神楽」は、全三十三番中第六番に番付される二人舞の神楽である。これは、猿田彦命を表す赤面の鬼と、天宇津目命を表す幣方の2人の勇壮な舞を見せるもので、天照大神が天孫降臨の折り、この2人に道案内をつとめるように命じたところ互いに敵同士と勘違いし激しく戦うが、やがて和解し共に先導役を勤めるという神話を元に作られた神楽である。

特に圧巻は、戦いの場面でいたるところにおりこまれる「ドドンガ」と呼ばれる所作で、力強く舞い上がるものである。この「ドドンガ」については我々神盛会のメンバーもこの部分の出来不出来がこの舞の評価の対象となるものとらえている。

舞方は、赤鬼役は大柄なメイギンを着て、頭



に毛頭を付け右手に末広を、左手には鬼杖を持つ。幣方は、青色模様のメイギンに同色の袴をはき右手に鈴、左手に大御幣を持つ。まず幣方が神殿に向かって拝礼し、花道に向かって鬼を呼ぶ、鬼は花道で3度行き戻りして最後に「ドドンガ」を行って拝殿に進み出る。ここからが鬼と幣方の戦いの場面となる。3度の激しい戦いの後、神殿に向かって拝礼し退場する。

この「駈仙神楽」は動きが大変激しいところから、観客の受けも良く特に子供たちには最も人気があるものである。

この神楽を動の代表とすると、静の代表が「湯立神楽」であるといえる。この神楽は非常に神

聖でかつ神秘的な神楽であり、多種多様な舞台準備に約1ヶ月かかる。舞い手たちも海水で体を清め厳かな気持ちで望まなくてはならないものである。三十三番の題目中六番がこれにあたる。蛸瀬神楽の中でもこの「湯立神楽」が重要な位置にあたることを示している。

さて、平成11年の3月に大分県無形民俗文化財として指定されたことは、我々保存会にとってはこの上ない励みとなるもので、今後とも伝承活動に取り組んでいくつもりである。

大分県中津市大字蛸瀬

豊前岩戸神楽蛸瀬神盛会

会長 江渕 寿



#### メンバーリスト

| 番号 | 氏名      | 年齢 | 性別 | 役割       | 番号 | 氏名      | 年齢 | 性別 | 役割        |
|----|---------|----|----|----------|----|---------|----|----|-----------|
| 1  | 江渕 正 男  | 77 | 男  | 芸能指導     | 8  | 大江 健 治  | 36 | 男  | 駈仙(幣方控え)  |
| 2  | 江渕 寿    | 64 | 〃  | お囃子(太鼓)  | 9  | 浅 川 勝   | 55 | 〃  | 小道具係      |
| 3  | 浜 野 昭 男 | 67 | 〃  | 〃 (鉦)    | 10 | 丸 尾 晴 彦 | 42 | 〃  | お囃子(太鼓控え) |
| 4  | 加 来 武   | 66 | 〃  | 〃 (笛)    | 11 | 大 塚 孝 士 | 38 | 〃  | 駈仙(幣方)    |
| 5  | 為 末 強   | 64 | 〃  | 〃 (鉦控え)  | 12 | 加 来 弘 行 | 26 | 〃  | お囃子(笛控え)  |
| 6  | 浜 野 基 好 | 58 | 〃  | 駈仙(鬼役)   | 13 | 浜 野 宗 一 | 79 | 〃  | 保存会長      |
| 7  | 為 末 純 司 | 52 | 〃  | 〃 (鬼役控え) |    |         |    |    |           |

# 祭 能 芸 俗 民

第41回 九州地区民俗芸能大会・第7回 ふくおか県民文化祭民俗芸能大会



平成11年  
10月31日(日) 13:00-16:30

サザンクス筑後

福岡県筑後市大字若菜1104  
Tel 0942-54-1200

入 場 無 料

## 九州・筑後の芸・食・楽祭

日時＝平成11年10月30日(土) 13:00-21:00/31日(日) 10:00-17:00  
会場＝サザンクス筑後全館

| 催し物                                   | 会場           | 10月30日(土)   | 10月31日(日)     |
|---------------------------------------|--------------|-------------|---------------|
| 第41回九州地区民俗芸能大会・<br>第7回ふくおか県民文化祭民俗芸能大会 | 大ホール         |             | 13:00～16:30本番 |
| 筑後市文化連盟による芸能大会                        | 小ホール         | 13:00～17:00 |               |
| 展示(久留米餅・八女和紙等)                        | ギャラリーイベントホール | 13:00～21:00 | 10:00～17:00   |
| 久留米餅 古布(松林製)・和紙による作品展                 |              |             |               |
| 物産展示販売                                | ふれあいサロン・駐車場  | 13:00～21:00 | 10:00～17:00   |
| 久留米餅・餅入れはなんてん・竹製品・八女提灯                |              |             |               |
| 飲と食の広場                                | ベル広場         | 13:00～21:00 | 10:00～17:00   |
| べんがら村による地ビールと食の店・八女の太鼓                |              |             |               |
| 九州の観光・物産展                             | 大ホールロビー      | 13:00～21:00 | 10:00～17:00   |
| 出演団・市町村による観光物産展                       |              |             |               |

■ 出 演 団 体 (出演順)  
香椎宮幸納獅子楽保存会(福岡県)  
曲舞土芸能保存会(長崎県)  
高江太郎太郎踊り保存会(鹿児島県)  
西郷村若宮神楽保存会(宮崎県)  
川原狂言保存会(佐賀県)  
豊前岩戸神楽船瀬神楽会(大分)  
稚児風流保存会(福岡県)  
上荒尾熊野神社子供神楽保存会(熊本県)  
与那国民俗芸能保存会(沖縄)



交通アクセス  
● JR筑後駅より徒歩10分

お問い合わせ＝福岡県教育庁総務部 文化財保護課 TEL 092-643-3875  
筑後市教育委員会 社会教育課 TEL 0942-53-4111